

城山遺跡木簡出土地点図

## 9 関係文献

国学院大学伊  
場遺跡調査隊

『伊場遺跡―西遠地方に於ける低地性  
遺跡の研究―』（浜松市）

一九五三年

可美村教  
育委員会

『浜名郡可美村城山遺跡範囲確認調査概報』

一九七八年

（辰巳 均）

## 埼玉・新倉館跡

### 1 所在地

埼玉県児玉郡美里村大字南十条字新倉

### 2 調査期間

一九七七年（昭52）十二月～一九七八年三月

### 3 発掘機関

美里村教育委員会

### 4 調査担当者

菅谷浩之・岡本幸男

### 5 遺跡の種類

居館跡

### 6 遺跡の時代

室町時代

### 7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

新倉館は構造改善事業に伴う調査によって発見された館であり、本館についての記録はなく、『埼玉の城館跡』にも記載されていない。ただ伝承として、江戸時代に屋敷が存在していたとも言われている。

館は標高七六メートル程の平坦地に位置し、周辺は畑と水田であり、たまたま内堀の部分の方が方形に水田として残っていたため、分布調査の際に注目したのが発端である。

館の存在するこの地域は、当初の計画では削平する予定であったが、館跡であることが確認されたため、一部を調査して保存することになった。


調査によると、外堀を含めた館の規模は、東西一二〇メートル、


122×25×6 015



新倉館跡木簡出土地点図

なお、上端に径三ミリの孔がある。

(2) 

(3)  $\times$    $\times$

(3)

×
<input type="text"/>
<input type="text"/>
×

$$\begin{array}{r} 122 \times 28 \times 3 \\ (67) \times 27 \times 4 \end{array} \quad \begin{array}{r} 015 \\ 015 \end{array}$$

9  
関係文献

菅谷浩之・岡本幸男  
『武蔵新倉館』（埼  
玉県児玉郡美里村教育  
委員会）

一九七八年  
(菅谷浩之)